

やちまた



文化財ボランティア通信

第12号

—令和2年3月—

八街市教育委員会が推進する文化財保護・活用・継承のための市民・行政協働事業の一環として、文化財ボランティアの活動状況や文化財情報などをお知らせします。

親子で楽しむ縄文土器づくり！を開催(*^_^*)



令和元年7月20日、8月10日に縄文土器づくりを体験する講座を開催しました。講師の先生は、全

国各地の大学・博物館等から依頼される縄文土器製作技術で高名な戸村正己先生です。夏休み期間中に、縄文土器づくりをとおして親子の触れ合いやコミュニケーションを深めることもでき



1日目 縄文土器づくり



1日目 縄文時代解説

る親子参加型の講座を開催しました。

2日目
縄文土器焼き



2日目 土器完成！



小間子牧野馬捕込跡にオカメザサを植えました!(^^)!

まず、小間子牧野馬捕込跡おまごまきのまといこめの説明をしたいと思います。江戸時代に幕府は八街に馬を育てるための牧場まきばを設置し、その一つが小間子牧です。牧場では年に一度、放牧している馬を捕らえる「捕馬ほば（野馬と捕り）」が行われていました。野馬を追い込み・捕らえて、野馬を選別する作業が行われた施設を捕込跡と呼んでいます。この捕込跡は八街市内で唯一残っている貴重な史跡であり、それゆえ、八街市の指定文化財に指定されています。

この捕込跡の土手は、長年の風雨や人為的な影響により土手の土砂流出が発生し陥没や崩落している場所があることから、将来の土砂流失を未然に防止するため、土砂を充填しながらオカメザサの移植を文化財ボランティアの皆さんと一緒にしました。



オカメザサ移植作業



オカメザサ定植状況

豆知識 オカメザサってな〜に？

浅草とりの酉の市でオカメの面を下げて売っていたことから、オカメザサという名称がついたそうです。名称はササとありますが、植物学では日本原産の竹の一種です。背丈は1〜2mに成長しますが、通常は30〜50cm程度に刈込しても枯れずに育ち、管理するには非常に容易な植物です。よく育つためには、適度に日影がある湿潤な場所が良いといわれていますが、不良地でも良く育つ順応性の高い竹です。



おかめ



オカメザサ

文化財ボランティア応援講習会を開催しました(*^_^*)

ボランティアの方々が各種活動を実践するうえで、必要な知識や技能の向上を図るため令和2年2月27日（木）及び28日（金）の2日間、「御成街道跡を^{おなり}発掘してみよう！」と題し、文化財ボランティア応援講習会を実施しました。

御成街道跡は、慶長18（1613）年に徳川家康が東金へ鷹狩に行くため、土井利勝に命じて造成させた街道で、船橋御殿から東金御殿までを結ぶ約40kmあります。造成には近隣の農民が駆り出され、昼夜を問わず突貫工事が行われ短期間のうちに完成したといわれています。それゆえ、「一夜街道」や「提灯街道」とも呼ばれていました。

このような歴史背景をもつ御成街道は市内の沖地区に一部のこされており、非常に重要なことから、指定文化財として指定されています。今回は、まだ指定になっていない範囲を確定し、将来、保存・整備するための発掘調査をボランティアの皆さんと協働で実施しました。



御成街道を西から望む



調査風景（東から望む）



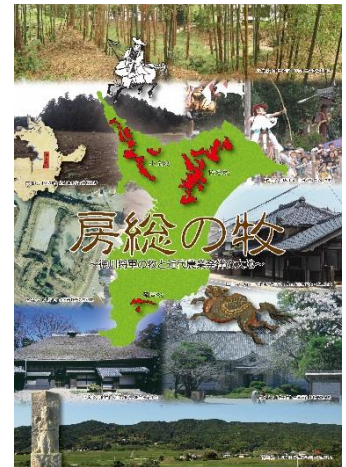
市指定文化財「カタクリ群生地」でのおもてなし



本来なら、令和2年3月23日（月）～25日（水）までの3日間、砂区の日枝神社脇にあるコミュニティーセンターいさご会館にて、甘酒のおもてなしを実施する予定でしたが、今回は新型コロナウイルス感染拡大対策のため中止という苦渋の判断となりました。カタクリの花を把握するため3月12日に見に行ったところ5～6輪ついており、カタクリの開花を確認しました。3月25日には、270～320株の花を観察できましたが、例年に比べると半分ぐらいと、花の付き方としてはあまり良いとはいえないシーズンでした。昨年の台風15号や近年の天候不順の影響でしょうか。来年は多くの花が付くように祈るばかりです。

令和元年度も引続き「房総の牧」日本遺産申請!(^^)!

今年度も昨年度から引き続き、日本遺産の申請を八街市、柏市、鎌ヶ谷市、鴨川市、成田市と酒々井町を中心に6つの自治体と行いました。前述していますが、千葉県内には、江戸幕府によって馬や牛を育てるための^{まきば}牧場が設置されました。明治新政府の樹立後、広大な敷地を有する牧は、旧武士階級による開墾事業に適しており、開墾後は全国でも有数な落花生やスイカの産地となりました。このような歴史背景を礎として、現代の「農業王国千葉」が登場するまでをテーマとした「房総の牧ー徳川将軍の牧と近代農業発祥の大地ー」を文化庁が推進する日本遺産へ、昨年から継続して令和2年1月に再度共同申請しました。



紙面へのご意見・ご要望、または文化財保護やボランティア活動に対する思いなどがありましたら、社会教育課文化財班へお寄せ下さい。可能な限りこの通信誌に掲載して、皆さんへお届けします。



やちまた文化財ボランティア通信 第12号

発行日 令和2年3月27日

編集・発行 〒289-1115

千葉県八街市八街ほ796番地1

(中央公民館内)

八街市教育委員会 社会教育課 文化財班

Tel:043443-1464 Fax:043-443-3226

E-mail:shakyo@city.yachimata.chiba.jp

